学位論文内容の要旨

XVII型コラーゲンは、1型ヘミデスマゾームの構成分子の一つで、細胞と細胞外マトリックスとの接着ならびに信号伝達に関与すると考えられている。マウス心におけるXVII型コラーゲンα1（α1（XVII））鎖mRNA発現をNorthern Blottingで、また発現における推移をRT-PCRを用いて検討した。

Northern Blottingでは、心由来のRNAにα1（XVII）が発現していることが確認された。RT-PCRでは、α1（XVII）の発現は胎生期、新生期、生体期を通じて認められ、そのGAPDHに対する比は0.91±0.20、0.36±0.20、0.96±0.21であった。新生期は有意に低値であった。α1（XVII）発現は心発生に関与し、また、心の構造と機能の維持にも関与することが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究はマウス心臓の発育におけるXVII型コラーゲンの発現を検討したものですので、従来十分確立されていなかったマウス心発育過程におけるXVII型コラーゲンの発現様式に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。